

年金業務・社会保険庁監視等委員会(第20回)議事要旨

1. 日時 平成21年10月16日(金) 14:00~15:15

2. 場所 中央合同庁舎第5号館16階委員会室

3. 出席者

(委員会) 葛西委員長 大宅委員長代理 磯村委員 岩瀬委員 村岡委員

(総務省) 田部事務室長 小森主任調査員 ほか

(厚生労働省) 岡崎総括審議官

(社会保険庁) 渡邊社会保険庁長官 薄井総務部長 石井運営部長 樽見総務部総務課長
福本運営部企画課長 井上運営部年金保険課長
西辻日本年金機構設立準備事務局管理官

4. 議事次第

(1) 厚生労働省・社会保険庁からのヒアリング

(2) その他

5. 会議経過

○ 社会保険庁から、年金記録問題の解決に向けた取り組みの進捗状況等について、以下の内容を中心とした説明があった。

- ・ 「ねんきん特別便」については、これまでに約1億900万人に送付し、約7911万人から回答があり、このうちの約94%の方について年金記録の確認作業が終了した。
- ・ 記録の解明作業については、引き続き「ねんきん特別便」のフォローアップ対策を進めるとともに、旧姓情報を活用した調査等に計画的に取り組んでいる。
- ・ こうした取り組みにより、未統合記録のうち基礎年金番号に統合済みの記録は、本年9月25日現在で1257万件となった。
- ・ また、本年12月から厚生年金受給者等に対する標準報酬月額等の通知を開始するための準備を進めている。

このほか、来年1月に発足する日本年金機構の設立に向けた準備状況について説明があった。

これらについて、委員からは、報告内容の事実確認や関連質問等があった。

○ 次回の委員会は、11月24日(火)14時から開催予定

[文責 総務省(事務室)]